

## ～令和4年6月静岡県議会定例会における質問～

質問者：阿部 卓也 議員

質問日：令和4年6月21日（火）【2番目】

会派名：ふじのくに県民クラブ

項目	1 地域コミュニティ醸成のためのお祭り振興について
答弁者	知事
質問要旨	<p>「多様性の時代」と言われるが、それぞれ自分勝手に好き勝手なことをやっていたのでは、多様性ではなく雑多なだけであり、無秩序な社会を形成することになってしまわないか危機感を覚える。</p> <p>この多様性をまちづくり、コミュニティづくりに活かせるツールは何かと考えたときに、「祭り」こそコミュニティづくりの最良のツールであると考えます。</p> <p>祭りは地域社会の形成、地域力の醸成に大きな役割を果たしてきたが、コロナ禍で存亡の危機にある。</p> <p>「政教分離」の観点から、行政が祭りに関わることを忌避する考えのあることは承知しているが、祭りは宗教行事の部分とコミュニティ醸成に与する部分に分離可能であると考えます。</p> <p>そこで、「祭りの振興＝地域コミュニティ醸成及び地域力の醸成」と考え、県としての振興策、活性化策を考えるべきと提言する。</p> <p>この件については、議会でも条例化を検討したが、時間切れで成案にすることはできなかった。コロナ禍を経て社会環境の大きな変化があり、「祭り」の継続文化の伝承の危機に陥っている今日だけに、検討する必要性が高いと考えるが、所見を伺う。</p>

### <答弁内容>

地域コミュニティ醸成のためのお祭り振興についてであります。

日本の祭りは、古代においては、神に対して五穀豊穡を祈り、また、平和を願う儀式でありました。しかし、時代とともに宗教性は薄れ、日本の祭りに対する認識や意味合いは変化してまいりました。そうした中でも、祭りは、今も昔も、人と人との絆を深め、地域の伝統・文化的な価値を継承する貴重な行事であることに変わりはありません。現代では、地域コミュニティの活性化にとどまらず、観光振興、にぎわい創出などにつながることから、その振興は大変重要であります。

議員御指摘のとおり、私も祭りがコミュニティの核であるということを経験する経験がございます。東日本大震災が起こりまして、全国知事会から静岡県は岩手県を担当するように言われ、岩手県の遠野市に私ども本拠を定めまして、

遠野市長から釜石市の北、大槌町、山田町には手が回らないので、そこを集中的にとということで、私どもは山田町、大槌町を中心に支援をしましたがけれども、山田町におきましては、祭りの備品一式が全部津波で飲み込まれたということでございました。祭りが出来ないということを経済の方にお伝えしましたところ、死者を弔うことを核としたお祭りが遠州にあるということで そのお祭りを山田町でやってみることができるということをお伝えしましたところ、大変喜ばれまして、そして、その静岡のお祭りを山田町でやりましたところ、山田町の人たちは心から喜ばれまして、私もその現場におり、それを実感したということでございます。

しかし、今や祭りは担い手や財源不足等の課題を抱えておりまして、新型コロナウイルス感染症の影響により祭りの中止や延期が相次いだ上、地域における声掛けや、見回り活動などの相互扶助の機能も低下し、地域コミュニティの活力が失われることが懸念されております。

県では、これまで地域の伝統芸能活動等を牽引するリーダーを育成するとともに、祭りに必要な山車、太鼓、法被などの備品や祭りの稽古の拠点ともなるコミュニティ施設の整備に対し助成するなど、ソフト・ハードの両面から、市町の取組を支援してまいりました。また、国・県の無形民俗文化財に指定されている祭礼や伝統芸能に対しましては、行事の継承に向けた専門的見地から助言等も行っております。

今後は、これまでの取組に加え、地域活動を支援している県コミュニティづくり推進協議会との連携強化や、地域おこし協力隊、集落支援員等の人材の活用などにより、祭りの振興をより一層支援するとともに、祭りの振興に関する全国の条例化の事例につきましても、背景や内容、条例に基づく取組などを研究してまいります。

今一度お祭りに光を当てまして、お祭りの振興を通じて、コロナ禍で希薄となった地域のつながりを取り戻して、地域コミュニティの活性化を図ってまいります。

その他の御質問につきましては、副知事、関係部局長及び教育長から御答弁差し上げます。

項 目	1 地域コミュニティー醸成のためのお祭り振興について【再質問】
答弁者	経営管理部長
質問要旨	条例化について、他県を参考に研究するとのことであったが、まず条例化をし、理念として「お祭りは大切だ」ということを静岡県として発信することが、とても大切である。地域でお祭りに取り組まれている方々の励みになると思うので、検討していただきたく、再度認識を伺う。また、お祭りの経済効果への波及はとても大きいものだと思っており、多角的なお祭りの見方も出来ると思うが、それについての認識も再度伺う。

<答弁内容>

お祭りの振興に関する再質問についてお答えいたします。

議員御指摘のとおり、本県で開催されているお祭り等につきまして、情報発信していくことは有意義なことだと思います。

関係部局と連携して取り組んでまいりたいと思います。

また、条例制定の件につきましても御質問いただきましたが、これにつきましても、全国の条例制定状況やその内容について調査・検討しながら進めてまいりたいと考えてございます。

以上でございます。